

A-press

2005.2.17

広報 あそう vol.603



節 分 (太田幼稚園)

257名の新成人が めでたく大人の仲間入り

1月9日麻生町公民館において、平成17年麻生町成人式が開催されました。

麻生町の成人式は、新成人による実行委員会が中心となって、成人式の企画・運営を行っています。今年も12名の実行委員が、事前に会議をもち、記念品の決定、記念誌の作成、式典の構成など準備を進めてきました。



■ 実行委員名簿

役 職	氏 名
実行委員長	棚谷 智寿
実行副委員長	樽見 みゆき
〃	大曾根 淳
委 員	荒野 善之
〃	武井 佐和子
〃	宮寄 智隆
〃	金田 祐子
〃	宮橋 紀子
〃	出津 理恵
〃	小沼 剛
〃	川尻 信
〃	箕輪 清隆

「しゃかりき20歳」には、「しゃかりきになる」という言葉があるように、成人式を一つの節目として迷いを打ち破り、一心不乱に努力していこうという気持ちを込めたそうです。

式典では、横山町長や懐かしい恩師からお祝いと激励の言葉が述べられると、出席した224名の新成人たちは、成人としての喜びと責任をあらためて感じているようでした。

また、新成人代表3名が成人を迎えるの抱負を発表しました。家族や友人への感謝の言葉や自分の生き方に対する決意表明など、成人式を厳粛に受け止めている姿が印象的でした。

式典終了後はアトラクションが行われ、会場は和やかな雰囲気となりました。



新成人の皆さん

国民年金の加入手続きをしましょう

お問い合わせ

町民課 国民年金係

電話 72-0811 内線 114

麻生町学童保育 入会申し込みのお知らせ

●学童保育とは

保護者が、労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対して行われる保育です。

授業の終了後に指導員が見守るなかで遊びや仲間づくりを通して児童の安全確保および健全育成を図っていくものです。



●募集期間

平成17年3月1日(火)から3月11日(金)

●学童保育概要

場 所 麻生小学校(空き教室を活用)

定 員 30名

対象児童 小学1年生から3年生
町内に住所がある児童
昼間保護者が労働等で家庭にいない児童

保育時間 ●平日 放課後から午後6時
●学校の休業日(夏冬春休み、創立記念日、行事振替日)
午前8時から午後6時

※土・日・祝日、お盆(8/13~16)、年末年始(12/29~1/3)は学童保育は行いません。

保 育 料 月額3,000円
その他傷害保険料がかかります。

●児童の送迎について

送迎は、保護者の責任のもと行って下さい。

●申込方法

福祉課で申込用紙を受け取り、必要事項を記入のうえ福祉課へ申し込み下さい。

●お問い合わせ 福祉課

電話 72-0811 内線111

国民健康保険のお知らせ ～被保険者証の更新について～

平成16年度国民健康保険被保険者証は3月31日をもって有効期限が切れます。

平成17年度国民健康保険被保険者証は3月31日までに普通郵便にて、加入者の皆さんへ届くよう作業を進めていますが、役場窓口にて交付を希望される方は下記期日までにご連絡下さい。

●申込期限 平成17年3月22日(火) 厳守

●申 込 先 町民課 国民健康保険係

●被保険者証交付期間

平成17年3月29日(火)から31日(木)
午前8時30分から午後5時15分

●持参するもの

印鑑・身分を証するもの(運転免許証等)
受領者は世帯主となりますので、世帯主以外の方が来庁される場合は委任状を持参下さい。

●そ の 他 世帯単位での交付となります。

●お問い合わせ 町民課 国民健康保険係
電話 72-0811 内線113

霞ヶ浦・北浦清掃大作戦の お 知 ら せ

3月6日(日) 午前7時30分から



- 各地区の区長さんの指示に従って下さい。
- 一般家庭からのごみは出さないで下さい。
- 家電4品目(エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機)およびパソコンは美化センターへ持ち込みできません。

ごみ出しはマナーを守って

ごみの分け方、出し方について

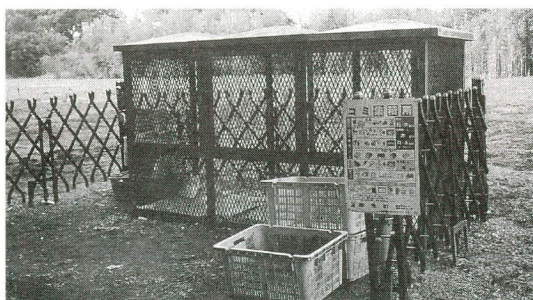


●資源ごみのびんについて

- びんはキャップ・ふたを取り、中をゆすいで割らずに出して下さい (青色コンテナ)
- 割れたびんは、燃えないごみへ出して下さい (赤、黄色コンテナ)
- 一升びんやビールびんなどは、なるべく販売店または資源ごみ回収団体へ出して下さい

※正しい出し方をしないと機械による選別ができなくなり、リサイクルや資源化ができなくなってしまうのでご協力をお願いします。

集積場をきれいに保つには、一人ひとり心がけが大切です



●直接搬入ごみ処理手数料について

- 事業系一般廃棄物(ごみ)は有料です
10kgにつき200円
- 一般家庭ごみは200kgまでは無料です。200kgを超えた場合、超過分のみ10kgにつき50円
- 手数料の金額については、搬入車1台についてを対象としています

●お問い合わせ

麻生町外2町環境美化センター

電話 72-1853

環境対策課

電話 72-0811 内線311

環境保全茨城県民大会 参加者募集のお知らせ

地球温暖化をはじめとした環境問題を解決するためには、循環型社会の形成を目指して、一人ひとりが環境に配慮した生活(エコライフ)を実践することが不可欠です。

- 日 時 平成17年2月22日(火)
午後1時から午後5時
- 場 所 茨城県庁 講堂
- 内 容 講演会 講演者 石川 英輔(作家)
ゼロ・エミッション優良事例発表会ほか
- 参 加 費 無料
- 申込方法 はがき、FAX、Eメールにて住所、氏名、電話番号記入のうえ申し込み下さい。

●お申し込み・お問い合わせ

県生活環境部環境政策課地球環境保全グループ

〒310-8555 水戸市笠原978-6

電 話 029-301-2940

FAX 029-301-2949

Eメール kanseil@pref.ibaraki.lg.jp

関東財務局からのお知らせ 平成17年4月1日から里道・水路(旧法定外公共物)の管理者が変わります

●道路・水路として機能を失ったもの

↓
財務省の管理となります

(境界確定や売払申請等は、直接財務局等で行うことになります。)

●道路・水路の機能を有している法定外公共物

↓
各市町村の管理となります

※なお公図・現況等では財産管理者が明確でないため、まず各市町村にて確認して下さい。

●お問い合わせ

関東財務局水戸財務事務所

統括国有財産管理官

電話 029-221-3188

役場 建設課

電話 72-0811 内線330

平成17年度 県政モニター募集の お知らせ

皆さんから県政に対する自由な意見や提案をお聞きし、それを県政に反映させるために、県政モニターを募集しています。

●活動内容

- ①通信用紙による県政に対する意見、提案の提出
- ②アンケート調査への協力
- ③地方会議、施設見学会への出席

●任 期

2年(平成17年4月から平成19年3月まで)

●募集人員 50名

●応募資格

- ①県内在住の満20歳以上の方
- ②公務員・地方公共団体の議会の議員でない方
- ③国・市町村のモニターと兼務にならない方
- ④過去5年以内に県政モニターを経験していない方

●応募方法

県庁総合案内、各地方総合事務所、役場に備えてある「県政モニター応募用紙」に所定事項を記入のうえ応募下さい。

なお、県のホームページから応募用紙をダウンロードすることができます。

また、県のホームページから電子申請もできます。

●応募締切

平成17年2月28日(月)(当日消印有効)

●応募先およびお問い合わせ

県広報広聴課

〒310-8555 水戸市笠原町978番の6

電 話 029-301-2123

FAX 029-301-2168

ホームページ <http://www.pref.ibaraki.jp/>

平成17年度 明日の地域づくり委員会 委員募集のお知らせ

皆さんが主体となって地域づくりについて話し合い、豊かで住みよい茨城づくりを目指すため、『明日の地域づくり委員会』の委員を募集します。

●活動内容

年7回程度委員会を開催し、2年間で地域づくりについての県への提言をまとめるとともに、提言に基づき自らも実践活動を行います。

●委員会の構成

各地方総合事務所50名(総勢200名)

●募集人員 200名中3割程度

●任 期

2年(平成17年4月から平成19年3月まで)

●応募資格

県内に住所を有する方
ただし、公務員を除きます

●応募方法

県広報広聴課、各地方総合事務所県民生活課などの県の出先機関、役場に備えつけの応募用紙に所定事項(住所、氏名など)を記入し、お住まいの地方総合事務所県民生活課まで応募して下さい。

●応募先

鹿行地方総合事務所県民生活課

〒311-1593 鹿島郡鉾田町鉾田1367-3

●応募締切

平成17年2月28日(月)(当日消印有効)

●お問い合わせ

県広報広聴課

電 話 029-301-2123

FAX 029-301-2168



県中高生体験学習発表コンクールにおいて 麻生一中が県知事賞を受賞しました

総合的な学習の時間で学んだことを発表する第2回茨城県中学生・高校生体験学習発表コンクールが開催され、手話によるろうあ者との交流をテーマにした麻生第一中学校が県知事賞を受賞しました。

コンクールでは、7分間の持ち時間のなかでパソコンなどを使いスクリーンに写真や図表を映しながら活動内容などを分かりやすく発表しました。



—— ころ研究部 ——

大 輪 将 之(3年)、矢 幡 翔 吾(3年)
小 貫 綾 子(3年)、浜 野 梨 沙(3年)
平 山 裕 美(3年)、
橋 本 舞 香(2年)、山 野 沙也加(2年)
椎 名 真 夕(1年)、田 島 愛(1年)
宮 内 愛(1年)

「Heart talking

手話を通じて心の交流」

福祉班 ころ研究部

私たちは、手話というツールを通して健聴者とろうあ者の垣根を取り払いたいという思いから集まった研究部員です。

初めの体験は、麻生町に在住のろうあ者の方から、どのように生活されているか、また、健聴者に対してどのようなことを考えているかなどを伺いました。振動する目覚まし時計を枕の下に入れて使うことや、センサーのついた腕時計で病院の診察順番が来たことを知ることができるそうです。私たちはこのようなものが存在することも知りませんでした。手話は体験してみると発想が豊かでとても魅力的なコミュニケーションのツールであることがわかります。愛想なく言葉だけで会話するよりももっと気持ちが伝わります。

次の体験は、麻生町で行われた「福祉まつり」に麻生一中、麻生中、玉造中が合同で行った「世界にひとつだけの花」の合唱に私たち福祉グループが手話で歌う形で参加しました。

今回の研究で、手話を通しさまざまな人たちと交流することができました。一番に感じたことは、障害を持っている人も平等なんだということです。言葉にとらわれず、人間として当たり前のように自然に接していけばいい。簡単なようですが、それが私たちの答えです。一步踏み出して、あいさつから始めてみませんか。「こんにちは」、そう問いかけるだけで新たな発見がありますよ。

■ なぜこのテーマを選んだのですか

小貫さん「小学校でやっていた手話を通して、ろうあ者の人達と交流をしてみたいと思ったからです」

■ 苦労したところは

浜野さん「普段話している言葉と手話の意味が少し違うところが苦労しました」

大輪くん「手話を覚えるのが大変でした」

■ 今回体験学習を行った感想は

浜野さん「ここで学んだことが、将来役に立てばいいと思います」

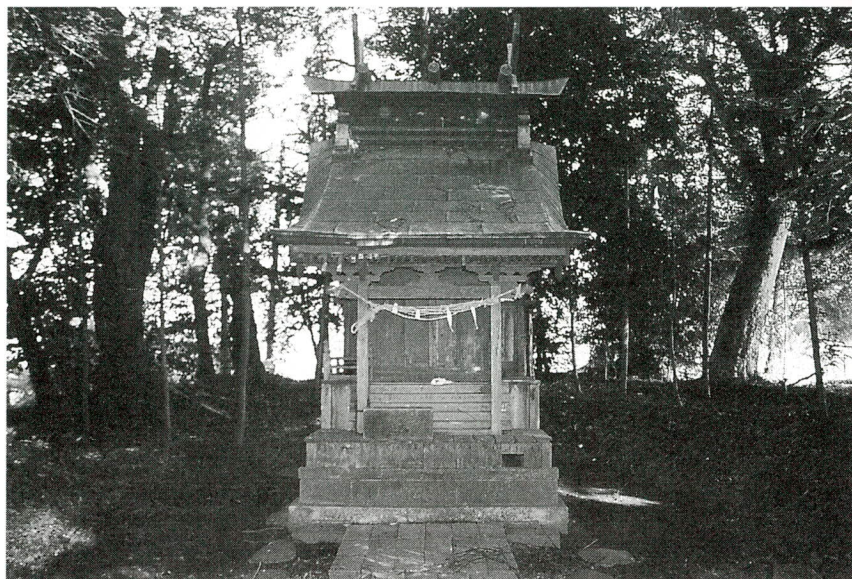
小貫さん「手話は手だけでなく、顔や言葉も用いる豊かなコミュニケーションツールだなと思いました。

普段話しているときにも、もっと相手について考えるようにした方がいいなと思いました」

平山さん「手話をもっと覚えて、もっとコミュニケーションがとれるようになりたいです」

大輪くん「他の人たちも手話を覚えることで、ろうあ者の人達がもっと住みやすい世の中になればいいと思います」

ふるさとめぐり



くにがみじんじゃ

国神社(行方)

祭神：大己貴命 おおなむちのみこと

白雉四年(653年)、行方郡家と同時に郡社として創建されたと伝えられています。その後、宝暦四年(1754年)に再建されました。

常陸風土記には、「郡の東に国つ社あり、此を懸の祇と号く、杜の中に寒泉あり。大井と謂う。郡に縁れる男女、会集ひて汲み飲めり。郡家の南の門に一つの大きな榎あり、其の北の枝、自ら垂りて地に触り、還りて空中に聳ゆ、其の地に、昔、水の沢ありき、今も霖雨に遭へば、庁の庭に湿漉る。郡の側の居邑に橋の樹生ふ。」(訳「行方郡の役所の東に国神の社(やしろ)がある。これを懸(あがた)の祇(かみ)〔行方国神様のことで土着の神〕といった。その森の中に寒泉(しみず)が湧き出ており、この寒泉を大井とっている。郡庁に勤めている男女や役所に来た人々は、語り合いながらその水を汲んで飲んだ。役所の南の門に一本の榎(つきのき)があり、その北側の枝は自然に垂れ下がり土に触れ、そこからまた空中に高くそびえている。その榎の下に、昔は水の沢があった。今でも霖雨(ながあめ)にあうと役所の庭に水たまりが出来る。郡役所の側の村に橋の樹が生えている。)」

これが国神社であるといわれています。

常陸国は新治、白壁、筑波、河内、信太、茨城、行方、鹿島、那賀、久慈、多珂の11郡と伝えられています。

そして、行方郡については堤賀、小高、藝都、大生、當鹿、逢鹿、井上、高家、麻生、八代、香澄、荒原、道田、行方、曾根、板来、餘戸の17の郷が集まったものです。

白雉四年に行方郡が誕生し、同時に行方郡家が置かれました。

当初、壬生氏が初代の郡司に任命され、その下に大領1人、小領1人、主政3人がいました。

鎌倉時代、吉田平四郎忠幹が行方郡司となり、その子宗幹が源義経の平家追討に参戦し、屋島の戦いで戦死しました。その恩賞として、その子4人(麻生氏、玉造氏、小高氏、嶋崎氏)に行方郡に築城することを許可しました。

(あそうの石仏石塔・あそうの文化 麻生町史編集委員会)

●交通：国道355号線より麻生町立行方小学校方面へ。その後、八王子神社を経た右側の丘の中。

小高分館事業

「ケーキづくり教室」

12月4日に井貝農村集落センターにおいて行われました。

講師には小貫せい子先生を迎え、チーズケーキ、ほうれん草ケーキ、さつまいもとリンゴのケーキの3種類を作りました。

その中でも、ほうれん草ケーキのあざやかな緑色の切り口を見て「すごくきれい」、「おいしそう」などの声が聞かれ、参加者は楽しい一時を過ごしました。



大和分館事業

「正月の生け花教室」

12月29日に小牧・板峰農村集落センターにおいて行われました。

講師には内田勝子先生を迎え、先生の丁寧な指導のもと参加者は持ち寄った水盤に個性あふれる作品を楽しくいけ込みました。

また、先生から「作法」についての講話もあり、参加者は正月を迎えるにあたり有意義な教室になりました。



生涯学習ページ



館ちゃん倶楽部

—公民館情報—

文化講演事業

「新春邦楽演奏会」

1月23日に公民館大ホールにおいて行われました。

当日は、たくさんの方が公民館に来館し、箏グループ輝（かがやき）による^{こと}箏、尺八、三味線が奏でる美しい音色が会場内に流れ、演奏を聴きにきた方の中には目を閉じて聞き惚れていた方も見られました。

また、演奏終了後には観客席からアンコールの拍手がされるなど、新春を迎えてのすばらしい演奏会となりました。



案内

お問い合わせ
麻生町公民館 72-1573



第15回 小高地区芸能発表会

「みんなで協力して楽しい発表会をつくろう」と小高地区の発表会が開催されます。日頃の練習の成果をぜひご覧下さい。

期 日：平成17年2月27日（日）

時 間：午前10時から

場 所：小高小学校 体育館



第5回 行方地区芸能発表会

地域のふれあい事業の一環として、行方地区の芸能発表会が開催されます。日頃の練習の成果をぜひご覧下さい。

期 日：平成17年3月6日（日）

時 間：午前10時から

場 所：西浦地区学習センター 集会室



町民ギャラリー



— 人形劇団つくしんぼとなかまたち —



展示期間 2月7日(月)～3月5日(土)



主 催 人形劇団つくしんぼ



— 第2回わくわくアカデミー作品展 —



展示期間 3月8日(火)～3月30日(水)



主 催 学校教育課

募集

お問い合わせ
麻生町公民館 72-1573



小高分館事業 「季節のすし巻き教室」参加者募集！

期 日 3月5日（土）

時 間 午後7時から

場 所 井貝農村集落センター

対 象 小高地区の方

参 加 費 実費

定 員 先着20人

講 師 小貫せい子先生

募集期間 2月18日（金）～ 25日（金）



麻生分館事業 「味噌づくり教室」参加者募集！

期 日 3月12日（土）

時 間 午前9時30分から

場 所 麻生町公民館 調理室

対 象 麻生地区の方

参 加 費 3,000円（樽代込み）

定 員 先着30人

講 師 専門講師

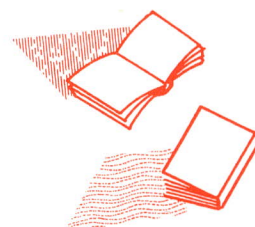
募集期間 2月18日（金）～ 25日（金）

お知らせ

※公民館では図書とビデオを整理しています。

まだ返却されていない方はお早めに返却下さい。

なお、貸し出しは4月1日（金）から再開します。



第31回 麻生町親善剣道大会

12月19日(日)

町民運動広場体育館

60名の参加により開催されました。

【面打の部】

優勝	大輪 光建	(行方少年剣友会)
準優勝	高野 郁弥	(小高少年剣友会)
第3位	瀬尾 奈瑠美	(〃)
第3位	荒張 英好	(〃)

【小学生団体の部】

優勝	小高少年剣友会チーム
準優勝	行方少年剣友会Aチーム
第3位	行方少年剣友会Bチーム

【小学生個人 4年生以下の部】

優勝	高橋 義男	(行方少年剣友会)
準優勝	河須崎 譲	(〃)
第3位	平山 璃奈	(〃)
第3位	高野 唯斗	(〃)

【小学生個人 5・6年生の部】

優勝	金子 渥	(小高少年剣友会)
準優勝	永作 貴弘	(〃)
第3位	大輪 真智子	(行方少年剣友会)
第3位	中城 ちさと	(〃)



【中学生男子個人の部】

優勝	河須崎 周
準優勝	椿 正己
第3位	矢 幡 健・西山 裕之

【中学生女子個人の部】

優勝	小 沼 利恵
準優勝	小 沼 ちえり
第3位	岸 根 美友紀・荒張 友佳



【一般の部】

優勝	鬼 沢 宣行
準優勝	松 兼 幸蔵
第3位	今 泉 源司・奥村 君雄

あそスポ —運動広場情報—

大会結果!

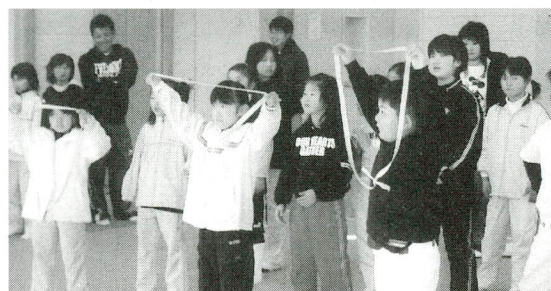
麻生町スポーツ少年団交流会

2月6日(日)

町民体育館・トレーニングルーム

町スポーツ少年団9団体(160名)による交流会が開催され、高学年はソフトバレーボール大会、低学年はレイ送りリレー、ペットボトルを使ったビン倒しなどのゲーム大会を行いました。チーム対抗ということもあり、参加した子どもたちは、それぞれの競技や応援に熱が入っていました。

また、高校生会によるレクリエーション(低学年)や全員参加のビンゴ大会は大いに盛り上がり、子どもたち相互の交流も深まったようです。



低学年優勝の麻生ベースボールクラブのみなさん



高学年優勝の麻生ファイターズのみなさん

第12回 潮来リーグ新人戦

1月15日(土)～16日(日) 牛堀小学校

6チーム(90名)の参加で行われましたが、麻生ミニバスが接戦の末、準優勝を獲得しました。



麻生ミニバスのみなさん

スポーツ安全保険に加入しよう!!

保険はお守りです! スポーツ安全保険はワイドな補償でみんなの元気を応援します。

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動などに最適な保険です。

■ 5名以上の団体でご加入下さい。

子どもの団体 500円(一人年額)から

大人の団体 1,500円(一人年額)から

■対象となる事故

グループ活動中の事故・往復中の事故

■保険期間

平成17年4月1日～翌年3月31日

*申し込み受付は3月からです。

■お問い合わせは運動広場まで TEL 77-0791

第11回 麻生杯ソフトテニス大会

1月30日(日) 町民運動広場テニスコート

荒天のため2度も開催が延期となった麻生杯ソフトテニス大会が1月30日(日)に144名(24校)が参加して盛大に開催されました。

麻生は残念ながら入賞できませんでしたが、選手は優秀チームとの対戦や観戦により、自分たちのチームづくりや技術の向上におおいにプラスとなったようです。



平成16年度 麻生町バレーボール連盟大会

12月5日(日) 町民運動広場体育館

優勝 南愛球会
準優勝 スワズ大和
第3位 シャドー



南愛球会のみなさん

今月のあそスポット 南愛球会チームから

今年で結成20年目を迎える「南愛球会」は、20代から50代前半までの幅広い年齢層でバレーボールを楽しんでいるチームです。

リーダーの小沼万里子さんは、「現在11名のチームですが、体調が悪くても練習には行きたいと思うほど雰囲気が良いです。結成20年ということは、結成当時に生まれた子どもが成人式を迎えるのですから、歴史を感じますね。また、愛球会はバレーボールのことだけでなく、子どものことや、地域のこと、色々な相談ができる場でもあります。孫の面倒を見ながらも、ずっとこのチームを続けていきたいね、とみんなで話しているんです。楽しく、元気に!をモットーに、これからも練習に励んで行きたいと思います。」とチームへの熱い思いを語ってくれました。

「丈夫な歯の子」で大臣表彰 ～大和第一小学校～



給食後の「歯みがきタイム」

最優秀賞に選ばれたのは、全国でわずか8校。今回の表彰について、石田校長は「父母、地域、学校の連携や歯科医のサポートなど、長年の活動が評価された。今後も継続したい」と受賞を喜び、^{たつみ}異養護教諭は「それぞれの子どもたちの歯に合った磨き方をしっかり身につけさせたい」と今後の指導に意欲を見せていました。



歯科保健教育を推進し、全国的に模範とするに足る成果を上げた学校について表彰する「全日本学校歯科保健優良校表彰」で、大和第一小学校が「最優秀賞（文部科学大臣賞）」として表彰されました。

大和第一小学校では、全生徒を対象に口腔写真付き「歯の健康カルテ」を作成し、歯科健康診断結果に基づいた個別的な保健指導や学校歯科医と連携した取り組みを実施しています。

また、学校保健委員会による活動では、毎回90%の保護者が参加する研修会の開催や定期的な歯ブラシチェックなど、虫歯の治療だけではなく、予防に対する子どもたちの意欲を高めることを重点目標として熱心な活動を行っています。

「白浜ウォーキングセンター」からのお知らせ

白浜ウォーキングセンターの開館日、開館時間が平成17年1月26日(水)から3月24日(木)まで変更となります。

1. 開館日：土・日・祭日

(変更後) ※平日の開館は行いません。

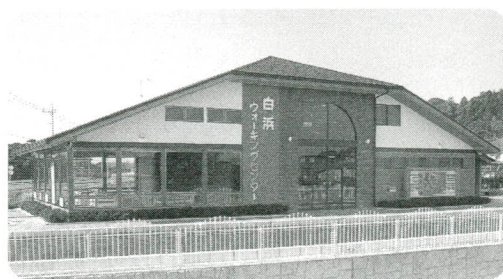
2. 開館時間：午前9時～午後4時

(変更後) ※午後5時閉館を1時間繰り上げます。

3. 3月25日以降の開館日・開館時間：

●水・木・金(午後1時～午後4時) ●土・日・祭日(午前9時～午後4時)

4. お問い合わせ：麻生町教育委員会 生涯学習課 (72-0811・内線305)



第12回 輝く未来展

はばたく未来へ子どもたちの夢をのせて

輝く未来展は、町内の幼稚園児・小中学校児童生徒の作品を展示し、広く町民の方々が子どもたちの世界に触れ、その未来を感じることのできる場として、公民館で行っている作品展です。

先月号の町報で受賞者を発表しましたが、今月は町長賞を受賞した作品を紹介します。

作文の部

小学生の部 町長賞

おかあさんへ

行方小学校 2年

大輪 貴正



「今日のしゅくだいはね、だっ
こなんだよ。」って、ぼくが言っ

たら、おかあさんは、びっくり目
玉で、ちっともしんじてくれなかつ
たよね。

「本当だよ。」

と、ぼくがわらったら、おかあさ
んは、

「このしごとがおわったらね。」

と、やくそくしてくれたよね。ぼ
くは、とってもうれしかったよ。

おかあさんのしごとがおわるのが
とってもまちどおしかったんだよ。

すべり台であそんでいたら、おか
あさんがきて、にこにこしながら、

「たか、しゅくだい、はじめるよ。」

って言うてくれたね。ぼくは、心
の中で、「やった」って思ったん
だよ。

おかあさんのひざにだっこした
ら、赤ちゃんにもどったみたいだっ
たよ。おかあさんは、

「赤ちゃんのとき、いっぱい、いっ
ぱい、だっこしたんだよ。」

って、教えてくれたね。ぼくは、
赤ちゃんのころのことをちっとも

おぼえてないけど、そのことばを
聞いてなんだかだっこがなつかし
いなあって思ったんだよ。

ぼくは、あおいのおにいちゃん
だから、だっこなんてしたことな
かったでしょ。はずかしいし、お

にいちゃんなのにかっこわるいと、

思ってたんだよ。

でも、やっぱり、おかあさんの
ひざは、気もちがよかったよ。

おかあさんがぼくのことをぎゅっ
とだきしめてくれたでしょ。そし
たら、おかあさんの心の中の声が

ぼくに聞こえてきたんだよ。

「たか、すっかり、大きくなった
ね。」

「これから、べんきょう、がん
ばれ。」

「一輪車、早くのれるようになる
といいね。」

おかあさんのやさしさやはげまし
が、ぼくに伝わってきたんだよ。

ぼくは、うんうんとうなずいで、
おかあさんの心の中の声にへんじ

をしたんだよ。ふりむいて、おか
あさんのおおを見たら、おかあさ

んと目があったよね。そのとき、
ぼくの体の中に、元氣パワーとが

んぱりパワーが、いっぱい、いっ
ぱいじゅうでんされたみたいだっ

たんだよ。一輪車にも、すぐにの
れるような気がしてきたよ。むず

かしいもんだいも、すらすらとで
きちゃう気がしてきたんだよ。

しゅくだいにでなくても、だっ
こしてね。おかあさんのだっこっ

て、まほうみたいだね。すごい、
すごい。すごすぎるよ。

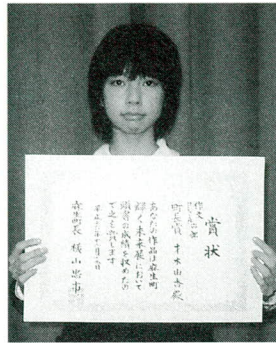
おかあさん、ぼくのおねがいを聞いてね。おなかがすいたら、おいしいごはんを食べるでしょ。それとおんなじで、元氣パワーとがんばりパワーをじゅうでんするために、これからも、おかあさんに、いっぱい、いっぱいだったしたい

中学生の部 町長賞

ブラスバンド部に入部して

麻生中学校 1年

才木 由香



私は今、ブラスバンド部に所属しています。

三年生の先輩たちが、部活を引退してからは、今のブラス部は、二年生の部員もいなく、一年生四人だけという、とても少ない人数になってしまいました。でも、だからこそ協力し合う大切さや、先輩たちの大変さ、ありがたさがわ

な。おかあさん、いいでしょ。おれいに、ぼくは、おかあさんのかたもみをいっぱい、いっぱいするね。ぼくのかたもみで、おかあさんも、ぼくみたいに、元氣になっ

てくれると、うれしいな。

かりました。そして、音楽を人に聞いてもらう喜びや楽しさも知ることができました。

私は、小学校の頃から中学校の部活動を、楽しみにしていました。しかし、初めからブラス部に入ろうと思っていた訳ではありませんでした。テニス部やバレー部。やりたい部活動はたくさんありました。けれど、私は運動が苦手な方なので、何となく初めはそんな理由でブラス部に入ろうという気になったのでした。

中学校生活が始まって、一週間ぐらいたった頃、部活オリエンテーションという、オリエンテーションを先輩たちが開いてくれました。一年生が入場すると、とてもきれいな曲が流れてきました。

「誰が演奏しているんだろう。」

と思って後ろを見ると、ブラスバンド部の先輩たちがキラキラ輝く楽器を持ち、きれいな演奏をしていました。私はそれを見て、「すごいなあ。私もこんな風に楽器で曲を演奏してみたいなあ」と思い、その演奏に目がくぎづけになりました。

部活見学になると私は毎日ブラス部を見学しに行きました。その度にブラス部の先輩はいろいろな私の知っている曲を聞かせてくれました。曲を聞き、私はすごく感動しブラス部に入る夢はますます広がっていったのです。楽器は何も吹けないけれど、早くブラス部の一員となって、人の心を感動させたいとわくわくしていました。

ブラス部に入部してからは、毎日が今までより、すごく忙しく感じました。見学期間のように甘くはなく、準備や遅くまでの練習と、慣れない事ばかりでとまどいました。しかし、人を感動させる音楽を演奏するには、つらい事をのりこえたり、努力をしなければなら

ない事を先輩から学びました。

そして、いよいよ初めての人前の演奏の日がやってきました。それは、部活動壮行会の選手の入退場の曲をブラス部がまかされた

時でした。初めての経験でとても緊張しました。楽器はタンバリンという一年生らしい楽器でした。それでも、担当楽器なので一生懸命やりました。演奏している曲に合わせて、入場してくる選手の人達を見て、嬉しく思いました。

私の初めての演奏を終えてからは、いよいよ七月にある県東地区コンクールに向けての練習が始まりました。コンクールでは、県大会に行く中学校が選ばれるので、いつもと違う気持ちでした。そして、コンクールの日は三年生と合わせる最後の日でもありました。それを最後に三年生は、引退をしてしまうからです。一日練習をしたり、みんな必死でした。一年生は打楽器を任せられました。体育館ではない広いホールで出来る、わくわく感と三年生がいなくなってしまう悲しみで、コンクールの日が待ちどおしいような、待ちどおしくないような複雑な気持ちでした。

習って、今のようなブラス部を創り上げたいと思いました。

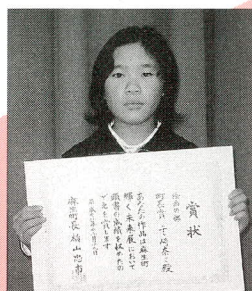
コンクール当日。ステージはとも広く、お客さんも今までとは、くらべものにならないぐらいに多く、審査員の先生方もいます。とても、緊張しましたが何とか間違わずに演奏できました。そして、三年生と最後の最高のステージができたと思いました。結果は残念ながら、県大会に行く事ができず、くやしかったけれど、私は満足でした。三年生と最高の演奏をお客さんに、聞かせる事ができたからです。

三年生が引退すると、少人数で活動できるかも不安でしたが、人数が少ない所は少ないなりにできる事がたくさんあると思います。部活の顧問の先生も言っていました。

「人数が少なくても、もしコンクールに出られなくても、ブラス部の役目はコンクールに出る事だけじゃない。人数が少なくても、人を感動させる演奏はできるでしょう。」私はこの言葉が心に強く残りました。私はもっともっと、楽器を練習し、自分たちの演奏を一人でも多くの人に聞いてもらいたいです。そして、その人が少しでも元気に

なったり、楽しい気分になったり、幸せな気分になったとしたら、私はもっと最高だと思っています。これからも自分の部活に誇りを持って、活動したいです。一人でも多くの人が、感動してくれるように。

絵画の部



題 祭りばやし

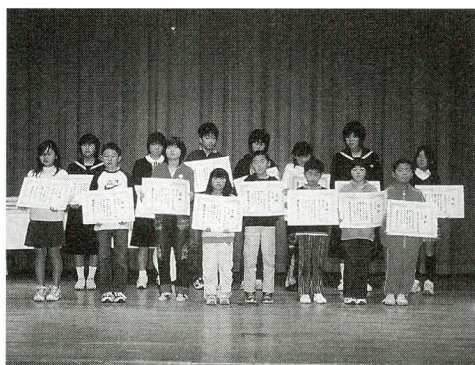
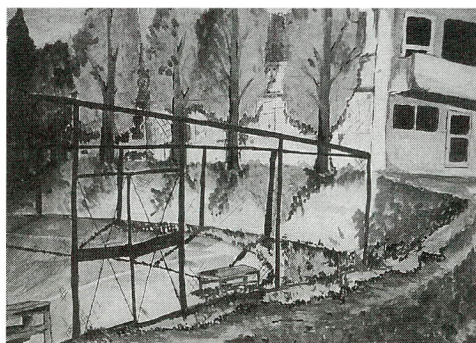
小学生の部
町長賞 千ヶ崎奈々さん
(麻生小3年)



題 秋の学校



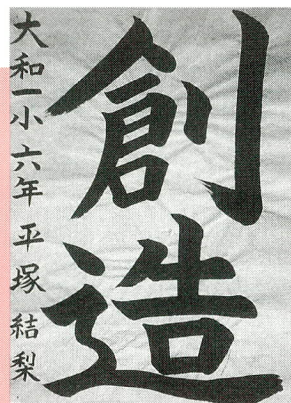
中学生
町長賞 額賀 澪さん
(麻生第一中2年)



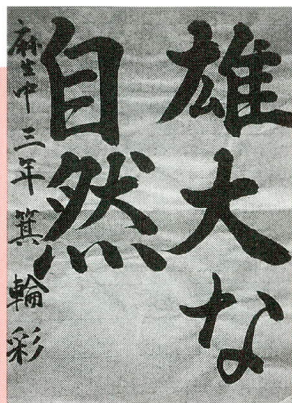
書道の部



小学生の部
町長賞 平塚結梨さん
(大和第一小6年)



中学生の部
町長賞 箕輪 彩さん
(麻生中3年)



新春を祝う賀詞交歓会

麻生町公民館において賀詞交歓会が行われました。町内の各界を代表される方々が出席し、新年の抱負を語り合いました。

横山町長は、今年9月の「行方市」誕生に向けて更なる努力を重ねると抱負を述べました。



JOC杯中学ハンドボール大会 に出場

将来のオリンピック候補選手の発掘を目的とした、JOCジュニアオリンピックカップ全国中学大会に関東ブロックの代表として茨城選抜チームが出場しました。

茨城選抜チームには麻生中から信太 弘樹くん、平山 憲人くん、羽生 文成くん、椎名 隆太くんの4人が参加しました。

今大会信太 弘樹くんは、オリンピック有望選手に選ばれました。



初めての買い物

麻生幼稚園では、園児たちに決められた金額（200円）でどんな買い物ができるかを体験してもらう買い物体験を行いました。

大好きなお菓子を1つだけ選んで買う園児や何種類ものお菓子を買う園児などそれぞれ買い物を楽しんでいます。



麻生高校生が清掃活動

麻生高校生が学校周辺の清掃活動をボランティアで行いました。清掃活動は生徒会の呼びかけにより今回初めて行われました。

生徒会長の江口拓也くんは「たくさんの生徒が清掃活動に参加してくれたことがうれしいです。今後はもっと地域の役に立つような活動をしていきたいです」と話してくれました。





健康づくりニュース

あそう温泉「白帆の湯」臨時休館日のお知らせ 施設の総点検作業のため3月17日(木)は臨時休館となります

あそう温泉「白帆の湯」は、平成15年4月にオープン以来、多くの皆様方に親しまれご利用いただいています。

オープン2周年を迎える今年は、設備上のトラブルを未然に防止し、更なるサービス向上のため、施設の総点検整備を行います。点検は定休日を中心に行っていますが、1日だけ臨時休館日を設けて対応することとしましたので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

◆3月末日までの休館日

3月2日(水) 3月16日(水) ※3月17日(木) 臨時休館日

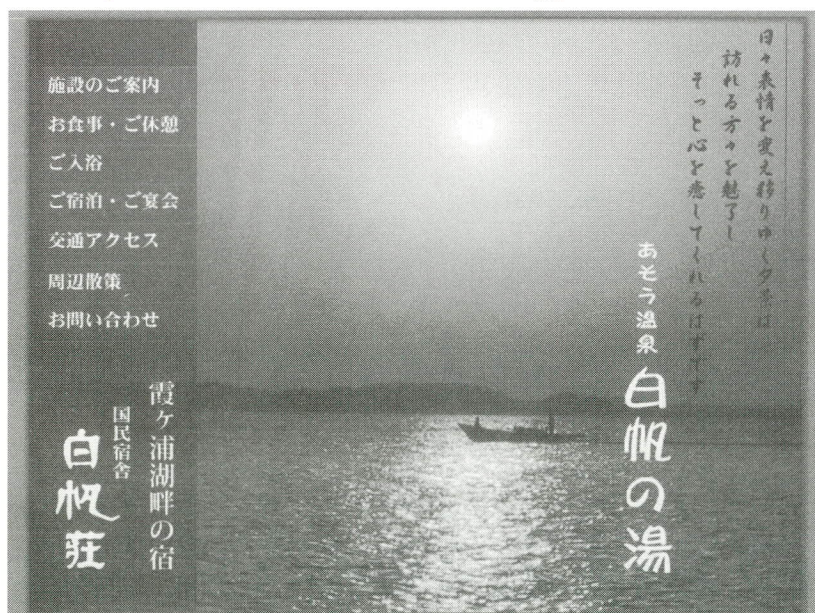
通常の定休日は、第1、第3水曜日です。

ただし、この日が祝祭日の場合は、次の平日が休館日となります。

ホームページが 出来ました！

あそう温泉「白帆の湯」・国民宿舎白帆荘のホームページを開設しました。
皆様方からのご意見ご要望をお待ちしています。

<http://www16.ocn.ne.jp/~shiraho/>



■健康カレンダーの配布について

配布時期 3月の広報あそうと一緒に配布します健康カレンダーには、保健センターで行われる事業（各種検診や乳幼児検診・予防接種）が載っていますので、早めに予定を知ることと日程の調整が出来ると思います。どうぞご利用下さい。



こんにちは

保健師です

テーマ 身体を動かす習慣 づくりを始めよう

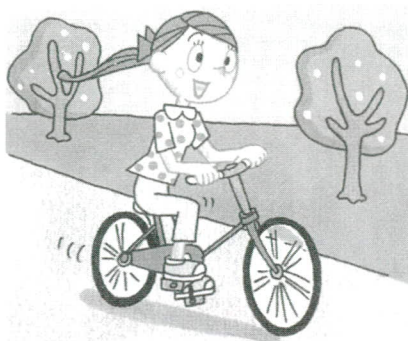
「運動はしたいんだけど、時間がなくて」という言葉をよく耳にしますが、皆さんは、毎日の生活のなかで体を動かす量は十分だと感じていますか？ まだまだ寒さが続いているこの季節、コタツのなかで過ごしたいと思っている方が多いのではないのでしょうか？

電化製品や乗り物の普及によりつい楽な生活へと流されてしまいがちです。そのため運動が不足するのは、避けられないことなのかもしれません。

だからこそ、意識的に身体を動かして、病気を寄せつけない健康な身体づくりを心がける必要があります

運動の健康効果

- 足腰の筋肉を使うことで、脳を刺激し老化やぼけの防止になる
- 血流がよくなり、高血圧を防ぎ新陳代謝も高まる
- 脂肪が燃焼され、肥満や糖尿病の予防に効果的
- 善玉コレステロールが増え、動脈硬化を防ぐ
- 骨が丈夫になり、骨粗しょう症の予防に役立つ
- 気分転換になり、ストレス解消に役立つ



運動の4つのポイント

ポイント1 何をする《種類》

体脂肪を効率的に燃焼させ、血液循環をよくする「有酸素運動」を基本とします。ウォーキング・サイクリング・水泳のような持久運動がいいでしょう。

※有酸素運動とは、運動中でも酸素の供給が十分なされ、心臓などの器官への負担が少ない運動のことです。

ポイント2 どの程度《運動強度》

健康づくりを目的とした有酸素運動の場合、じんわり汗ばむくらいの強度で行うのがいいでしょう。仲間と話しでもしながら“ニコニコペース”で行いましょう。

ポイント3 何分する《時間》

有酸素運動は、開始から20分くらいで、脂肪燃焼効果が大きく出てくると言われています。「1回につき20分から40分」が効果的ですが、たとえ5分しか運動できなくても実行することが重要です。

ポイント4 何回する《頻度》

運動による効果を得るには「週2回以上」運動することが望ましいと言われています。でも、たとえ週1回であっても、運動を行うということが大切です。

自分の生活習慣を見直し「運動しなければ」と気負わず、自分の興味があることから、チャレンジしてみましょう。まずは「楽しい」、「気持ちよかった」と感じる大切です。



※掲載を希望しない方は、役場総務課にご連絡ください。

おめでとうございます

赤ちゃん	保護者	住 所
根本 修汰 ^{しゅうた}	憲 治	麻 生
矢幡 洸翔 ^{ひろと}	和 幸	矢 幡
大盛 真衣菜 ^{まいな}	健 二	石 神
長牛 綾音 ^{あやね}	弘 樹	石 神
永作 春菜 ^{はるな}	光 春	蔵 川
大里 樹 ^{いつき}	勉	青 沼
額賀 あずみ	芳 信	杉 平
高木 歩夢 ^{あゆむ}	雅 之	行 方
大矢 果歩 ^{かほ}	義 信	島 並
植田 笙太 ^{そうた}	敏 浩	島 並
茂木 暖人 ^{はると}	健 二	小 高

お悔やみ申し上げます

亡くなった方	年齢	世帯主	住 所
立原東洋男	77	達 士	麻 生
大輪 貞蔵	80	喜 雄	麻 生
永作 チヨ	89	昭太郎	麻 生
関戸 英征	61	英 征	麻 生
鈴木 昇	68	勝 子	麻 生
黒澤 喜久	87	隆 夫	矢 幡
平山 やす	75	喜 一	矢 幡
鬼澤 えい	79	政 雄	矢 幡
本澤 信	84	清 一	矢 幡
茂木 イ子	84	豊	石 神
下河辺さく	89	勝 行	石 神
平山 克夫	80	清	根小屋
内山 郁己	21	安 平	青 沼
坂本 政次	93	正 雄	杉 平
滝ヶ崎利光	20	広	於 下
根本 千代	84	宣 文	行 方
渋谷 六郎	77	やす子	小 高

(氏名は新字で表示しています)

県立鹿島灘高等学校からのお知らせ

平成17年度より昼夜開講の3部制・単位制高校に変わります。

- 午前部・午後部・夜間部のなかから選べます
- 多彩な科目から学びたい科目を選びます
国公立理系進学にも対応するカリキュラムです
- 心のふれあいを大切にします
キャンパスエイドの常駐など、充実したカウンセリング体制です
- 少人数で分かる授業を展開します
英語、数学、国語は習熟度に応じた授業を実施します
- 進路指導を充実させます
進学合宿セミナー、就職合宿セミナーを実施し、進学指導強化特編チームを編成します
- お問い合わせ 県立鹿島灘高等学校
電話 0299-69-2511
ホームページ
<http://www.kashimanada-h.ed.jp>

県立歴史館開館30周年記念特別展Ⅱ 「戦国大名常陸佐竹氏」開催のお知らせ

県立歴史館では、開館30周年記念特別展Ⅱ「戦国大名常陸佐竹氏」を開催します。

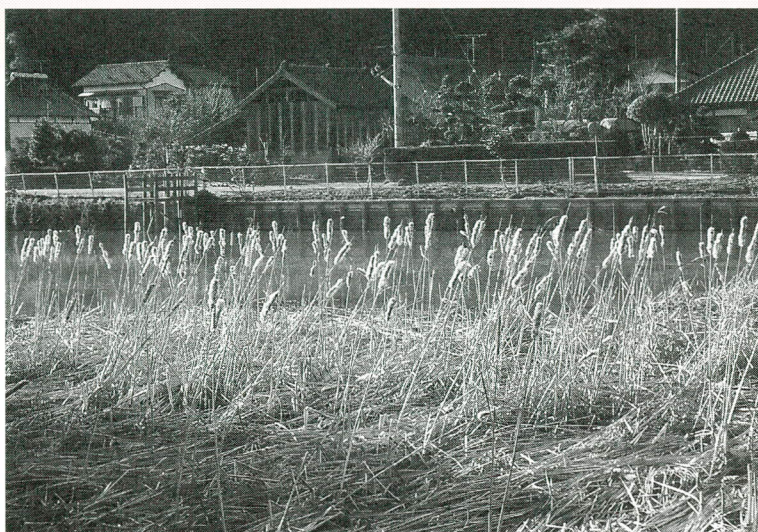
豊臣政権下「常州の旗頭」として常陸国を支配した佐竹氏について、氏の成立から秋田への国替えまでの歴史を紹介します。

また、そのなかで佐竹義重・義宣期を中心とした資料から戦国期の家臣団構成や領国経営、さらにはその時代の文化など、茨城の中世史の一端を探ります。

ぜひ、お越し下さい。

- 開催期間 3月21日(月)まで
月曜日休館
- 入館料 大人580(470)円、高・大学生300(230)円、
小・中学生150(110)円
※()内は20名以上の団体料金
- お問い合わせ 県立歴史館教育普及課
電話 029-225-4425

私の視点



箱樋池の蒲

(全日写連麻生支部 貝塚 俊洋さん)

箱樋池は羽黒山公園のふもとにあり
古来から用水として利用されてきました
最近改修との話を聞き、環境に配慮した
計画を期待しています

まちの人口 16,133人(男7,953人 女8,180人) 4,536世帯

まちの花：キク まちの木：イチヨウ まちの鳥：ヒバリ



●広報 あそう 第603号 平成17年2月17日発行

●ホームページアドレス <http://www.town.aso.ibaraki.jp>

●町長へのメール kouho@town.aso.ibaraki.jp

●発行 麻生町役場

●編集 総務課 茨城県行方郡麻生町麻生1561-9 ☎0299(72)0811